

2026年度 JCM セミナー【1】

時間外労働削減に向けて

「～具体的取組み事例をもとに～」



講習時間	13:00～17:00
ユニット	4 ユニット (形態コード 101-1 ※試験なし)
受講料 (テキスト代)	技士会会員：4,950 円 (税込) 無所属：9,900 円 (税込) ※無所属の方は、CPDS 学習履歴登録手数料 550 円 (税込) が別途必要です
使用テキスト	【1】「時間外労働削減のための現場での実践事例」 【2】時間外労働削減に向けて「～具体的取組み事例をもとに～」サブテキスト
講師	小林 正典 JCM 前専務理事  技術士(建設部門) 2024～2025 JCM 顧問 2016～2023 JCM 専務理事 ～2014 国土交通省において 関東地整荒川上流河川事務所長 利根川下流河川事務所長 北陸地整富山河川国道事務所長等を歴任
概要	建設業においては、これまで、時間外労働の多さや、休日の少なさが課題で、これが新規就業者の確保の障壁ともなっていた。そうしたなか、2019 年 4 月に施行された「働き方改革関連法」が、建設業については 5 年間の猶予措置がとられていましたが、2024 年 4 月 1 日より、時間外労働の上限を超え、違法な労働させている企業は、懲役刑や罰金刑が科せられることになりました。これが、建設業の 2024 年問題といわれているものです。 全国土木施工管理技士会連合会(JCM)では、現場技術者の時間外労働削減のための取り組みに参考となるよう、技士会連合会に寄せられた様々な具体的な取り組み事例を整理分類しました。今回のJCMセミナーでは、発注機関や業界の取り組みを紹介するだけでなく、これらの、様々な具体的な取り組み事例をもとに現場の技術者である皆様に参考となるよう解説するものです。

お申込みは JCM のホームページから

<https://sas.ejcm.or.jp/jcm/common/common/eventCalendar?c=03&ud=G>

お問合せ先：(一社)全国土木施工管理技士会連合会 セミナー事務局 semina@ns.ejcm.or.jp